

広島・五大同窓会会報

第18号

広島工業大学同窓会
広島市外五日市町三宅
発行者
永見憲吾

青年期を迎えた同窓会活動と近未来



このたび、同窓会会长という大役を仰せつかりました永見と申します。就任に当たり一言ご挨拶申し上げます。

まず初めに、中原初代同窓会会长のご労苦に対し厚く御礼申し上げます。創立以来18年間という長きに渡り、同窓会の組織作りに邁進された功績は永久に記念されることでしょう。又、その陰にあって今日迄会長を支えてくれた役員をはじめ、学内幹事の方々の御労苦も大変だったであろうと推察致します。深く感謝申し上げますと共にこれからもご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

さて、18年間経過した現在、会員数も1万2,3千人に増加し、組織面、運営面とともに資金面に於ても6~7千万円の基金が出来てまいりました。働き盛りの我々がいかに有効にこの組織を運営していくかは同窓会に対する認識の持ち方にあると思います。今日、情報化社会と言われて久しい時代ですが、色々な方面と接することによって我々は多くの情報を吸収しています。せっかく縁あって同窓の友となった訳ですから、この組織を情報交換等による親睦の場とし、色々な面で勉強をされては如何でしょうか。それが互いの発展につながればおさら良いことだと思います。さらに、母校の施設や情報なども同窓生の特権としていい意味で活用させて頂ければ、なお幸いでございます。そして、母校が発展し、内容的にも充実してくることは我々自身の誇りとなるでしょうし、又、同窓生の中から立派な方が多数輩出でてくることは互いの誇りとなる訳であります。本同窓生は今、働き盛りの真只中にいます。そこで働き盛りの年代にふさわしい同窓会としてこれから時代を“青年期の同窓会活動”と位置づけたいと思います。そのための運営方法については皆様方のお知恵も拝借させて頂きますので御協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

次に、日本という社会環境は今後、どのように変化していくのでしょうか。いくつかの企業と産業をあげて簡単にその近未来の流れを述べてみたいと思います。

近未来に変化するであろう企業と社会の波

①企業を襲う変化の荒波

人の一生にも似て誕生、成長、成熟、衰亡という変化を辿る企業死ではありますが、つぎつぎに新技術を開発し新しい事業を喚起して長寿を保つ企業集団もあれば、旧技術に固執しているうちに凋落の一途を辿る企業もあります。これから財界をリードする人物は、日本電気や富士通などの経営者たちから出てくる可能性が大きいと思います。そういう意味で鉄工など基幹産業からリーダーが出るのは過去のことになるにちがいない。

会長 永見 憲吾(昭和42年電子卒)

ア. 新技術が成長の原動力(マイクロ)エレクトロニクス、新素材、生命工学、新エネルギー、その他

イ. 炭素繊維の伸びが楽しみな東レ

ウ. 光通信で一步リードした電電公社と住友電工

エ. 国鉄は通信ネットワークでよみがえる。

その為電電公社の最大のライバルとなるだろう。

オ. 脈張する健康機器産業

カ. 他業種へ脱皮する斜陽産業

キ. 技術革新の見込めない産業

織維や製糖は斜陽化して久しいが、我が国の高度経済成長を支えてきた重化学工業の多くが、今日重大な瀕戸際に立たされている。特に悪いのがアルミ製錬、石油精製、石油化学、紙パルプである。

ク. 鉄工、自動車も成熟から衰退へ、中進国製品の流入で第2の織維になる家電。

いかに名門企業といえどもライフサイクルの終った産業、衰退産業に属している企業は複合企業に転身をはかっていかねば生き残れない。

ケ. 総合商社は没落する。

銀行は半減する。

コ. 損保の凋落は早まる。

サ. ニューメディアは新聞を滅ぼす。

シ. 発展する中小企業群

先端技術を追求する企業、急成長が予想される日本真空技術。これから伸びるコンピュータ裾野産業

ス. 掛せつ物処理産業の隆盛

②高齢化社会症候群

ア. かぜや腹痛は健保の適用外になる。

イ. 看護人付老人後保険が登場する。

ウ. エレクトロニクス医療機器によるあらゆる診断が普及する。

エ. 細胞銀行に預けて若返る。

オ. 安楽死が世論を湧かす。

カ. 繁昌する健康管理ビジネス。

キ. 老人が老人を介護する。

③新商品とヒット商品

一人間とサービスを売る時代

人生相談会社、子供のしつけ教室、老人の世話会社、企業の新製品企画会社、経営相談会社、生き甲斐会社、離婚引受け会社、専門の出前医師が出現する。中高年専門の人材派遣会社、光ファイバーで地下植物園ができる。ニューセラミックスによる人工骨や入歯が出来る。

以上、同窓会活動が互いの情報源の一つとなればと思い、参考までに書き記してみました。

第19回 定期総会報告

第19回定期総会が、去る4月29日広島工業大学内大学会館4階多目的ホールにおいて開催された。今回は、総会に先立って講演が行なわれ、講師は、三戸左内先生、演目は「先進技術の現状と今後の見通し」で、たいへん興味深いものであった。

総会はまず中原会長の挨拶で始まり、名譽会長の吉田学長の広島工大の現状についての説明があったのち、議長に昭和38年電子工学科卒業の倉本氏を出し、昭和58年度活動報告、昭和58年度会計報告、会則改正等、議題の順に、滞りなく進められ閉会した。引き続き鶴理事長をはじめ多数の教職員が参加され、同窓会員との懇談会が2階多目的ホールにおいて開催され盛況に終わった。以下に総会の要約を述べる。

昭和41年同窓会結成以来、基本的運動を進めてきた。現在、それらの運動は、概ね定着してきている。ただ問題は、組織の弱体化、同窓会としての团结がない。ということである。同窓会活動の強化の為、①支部の結成、促進及び支部内容の充実②法人化の促進③同窓会基金制度の確立④諸規定類の整備等について推進してゆきたい。そして、今までどおりの会誌・会報・名簿の発行等の活動方針案が出され承認された。又、会則改正では、現中原会長が、会長を辞任されることになったが、長い経験を生かし、今後も相談にのっていただきたいということ、相談役を設けることとなった。それにともなって、59年度は、会長職を退かれた後、中原氏に相談役としてついていただくことを決定した。役員選出では、現中原会長、辞意の表明に対し、昭和42年電子工学科卒業の永見氏が会長に選出された。新永見会長が挨拶で、同窓会に誇りを持てるように、その為には、良い学園、良い同窓会、良い人材を送るということを考えていく必要がある。皆様の協力をお願いしながら一步進めてゆきたい、と述べられた。以下に活動報告及び活動方針を述べる。

○昭和58年度活動報告

- 4月 総会開催
- 5月 体育祭への援助（30万円）
- 7月 会報発行
- 8月 長崎県支部総会出席
- 9月 ヨット部全国大会出場援助（16万8千円）



10月 奨学金支部（10名 36万円）

大学祭への援助（40万円）

11月 組織拡充代表者会議

12月 徳島県支部総会

1月 佐竹支部結成

3月 会誌発行、名簿発行

卒業生への記念品（卒業写真）

検討委員会

○組織の検討

○支部奨励

○在学生援助見直し

○会計制度の見直し

○法人化への検討

○同窓会事務合理化

○その他

○昭和59年度活動方針

○会誌・会報・名簿の発行

○在学生に対する援助

○支部の結成、育成

○名簿の充実

○活動の見直し

組織の検討

法人化への検討

同窓会事務の合理化

会則改正

旧 第4章 顧問問題

第10条 本公司に若干の顧問をおく。

(1) 顧問は総会の議決により委嘱する。

(2) 顧問は会の諮問に応ずる。

新 第4章 顧問・相談役

第10条 本公司に顧問・相談役をおく

(1) 顧問・相談役は総会の議決により委嘱する。

(2) 顧問・相談役は会の諮問に応ずる。

会長退任ご挨拶



昭和41年4月、広島工業大学同窓会発足以来18年、工大の発展と共に、同窓会員も増加し、現在1万4千名にもなる団体へと発展してまいりました。この間同窓会の基本的な活動の定着を重点項目とし、様々な手を打ってきました。その結果基本的な活動は定着し、他の大学の同窓会に對しても遜色のない状態となっていました。しかし会員の増加と共に、今迄の組織では、今後の情勢に対処することが困難となり、組織の見直し、さらには、法人化、基金制度の確立等、法的な基盤に立った同窓会作りが必要となつて來ました。

このような重大な時期ではありますが、同窓会の会長は、学園外の人と言ふ同窓会での了解事項があります。

私は、昨年4月、鶴学園に奉職したため会長を辞任する予定でございましたが、後任決定が遅れたため、本年4月

前会長 中原重男

まで会長を務めさせていただきました。

今度、後任としまして、永見憲吾氏の御了承を得まして、本年4月の総会で、会長に就任していただきました。

永見氏は、ご存知の通り、教育会でその経営手腕が高く評価されている実力者でございます。従つて同窓会の当面の課題解決のため、特に法人化等の法的活動の指導者としては最適の方でございます。

今後は新会長を軸として会員一同協力して同窓会の発展に尽くしていただきたいと思います。

私は、今後は、相談役として、引き続き同窓会のために尽力させていただこうことになりました。

同窓会発足以来18年、各方面の方々の、色々な御協力をいただきましたことを、心から感謝いたしますと共に、厚く御礼申し上げます。長い間有難う御座りました。

幹事長挨拶



本学の同窓会は毎年千名前後の会員を迎える大きくなっていますが、活動内容は10年前と大差ありません。丁度、身体だけ大きくなつて頭の内

幹事長 玉野和保

容がついて行かない子供と同様の状態です。何が欠けているのか、栄養分なのか、あるいは病なのか、考えてみてほしいと思っています。

昭和59年度 同窓会役員

会長	永見憲吾(子)
副会長	荒谷寿一(土), 道田憲治(経)
幹事長	玉野和保(子)
副幹事長	中西助次(機), 重広孝則(子)
会計	手越義昭(建), 松広斎(経), 砂田謙二(子)
会計監査	菅 峰三(土), 橋田好広(機)
書記	岡部正人(土), 吉山美佐子(経)

評議員	栗柄律郎, 八幡文吾
氣	松原昌弘, 森本房義
機	猪原憲昭, 砂原昭雄, 杉島民雄, 大藤英寿
土	船倉宏, 三浦勝行
建	生田文雄, 下健蔵, 森田洋正
経	岡本世纪, 岸 孝司

幹事	子 沖根光夫, 川畑敬志, 村田弘志, 片山剛之丞
氣	猪上憲治, 原田義治, 湯尻 照
機	松江孝博, 森滝美次郎, 小西正明, 古川博仁, 柳田光昭
土	伊藤秀敏, 大林 真
建	植村邦彦
経	近宗 貴, 広重 隆, 西田弘展, 西野達夫, 福永 保



昭和58年度 会計報告

(S.58.4.1 ~ 59.3.31)

〔決算〕

項目	収入	支出	残高
昭和58年度 総 収 入	13,714,071		
昭和58年度 総 支 出		9,191,988	
基金繰込金		4,000,000	
合 計	13,714,071	13,191,988	522,083

〔同窓会資産〕

- (1) 大学に、65,673,588円を預けている。

〔収入〕

項目	決算額
昭和57年度 繰越金	556,661
入会金 1,000円×881人	881,000
終身会費 10,000円×2人 13,000円×857人	11,161,000
総会会費 2,000円×64人	128,000
普通預金利息	127,345
広告料	300,000
雑収入(寄付金等)	560,065
合計	13,714,071

〔支出〕

項目	予算額	決算額	残高	項目	予算額	決算額	残高
会誌発行費	3,133,000	2,927,400	205,600	役員手当	82,000	71,000	11,000
会報発行費	1,235,000	1,010,460	224,540	支部費	300,000	166,940	133,060
名簿発行費	1,100,000	1,005,000	95,000	調査費	100,000	0	100,000
総会開催費	900,000	396,560	503,440	備品費	50,000	0	50,000
在学生援助費	950,000	868,000	82,000	委託費	450,000	371,658	78,342
卒業記念品代	600,000	481,080	118,920	奨学基金繰込金	650,000	650,000	0
通信費	180,000	175,265	4,735	奨学会寄付金	100,000	100,000	0
消耗品費	250,000	246,575	3,425	組織拡充 代表者会議	700,000	559,740	140,260
交通費	260,000	77,580	182,420	予備費	1,957,661	0	1,957,661
会議費	250,000	84,730	165,270	(合計)	13,247,661	9,191,988	4,055,673

昭和58年度 同窓会奨学金会計報告

項目	収入	支出	残高
基 金	4,186,896		
繰 込 金	650,000		
利 息	244,135		
奨 学 金		360,000	
寄 付 金	571,890		
手 数 料		8,025	
合 计	5,652,921	368,025	5,284,896

昭和59年度 予 算

〔収入〕

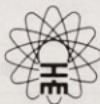
項目	予算額
昭和58年度 繰越金	522,083
入会金 2,000円×1,004名	2,008,000
終身会費 13,000円×809名	10,517,000
総会会費 2,000円×80名	160,000
預金利息	100,000
広告料	300,000
雑収入(寄付金等)	100,000
合計	13,707,083

〔支出〕

項目	予算額
会誌発行費	3,330,000
印刷費	1,150,000
郵送費	2,150,000
交通費	30,000
会報発行費	1,350,000
印刷費	400,000
郵送費	920,000
交通費	30,000
名簿発行費	1,300,000
総会開催費	900,000
懇親会費	750,000
交通費	100,000
諸費用	50,000
支部費	300,000

項目	予算額
組織拡充代表者会議費(仮称)	700,000
会議通親費	150,000
懇親会	150,000
400,000	
在学生援助費	1,300,000
大会学祭費	400,000
体育祭費	300,000
クラブ援助費	600,000
卒業記念品代	600,000
通信費	200,000
消耗品費	350,000
交通費	260,000
会議費	250,000
役員手当	82,000
会報発行責任者計	15,000
会誌発行責任者	2,000
名簿発行責任者	5,000
支部担当責任者	5,000
その他(日当)	50,000
調査費	100,000
備品費	50,000
委託費	500,000
奨学生基金融込金	382,000
鶴奨学会寄付金	100,000
予備費	1,653,083
合計	13,707,083

大学だより



〔工学部〕 (男女共学)

電子工学科…… 125名 電気工学科…… 125名 機械工学科…… 230名
土木工学科…… 125名 建築学科…… 230名 経営工学科…… 125名

広島工業大学

昭和60年度入試	1期試験	2期試験
試験日	2月3日(日)	3月8日(金)
出願期間	1月14日(月)～ 1月26日(土)	2月22日(金)～ 3月1日(金)
合格発表日	2月11日(月)	3月14日(木)
試験科目	数学 I、代数・幾何・基礎解析 物理または化学のどちらかを選択。 いずれも理科 I の当該分野を含む。 外国語 英語 I、英語 II	
試験場	第1期 本学(広島) 松山(松山商科大学) 岡山(岡山理科大学) 福岡(福岡大学高宮校舎) 大阪(大阪歯科大学) 第2期 本学のみ	

〔奨学制度〕

名 称	支 給 額	返還義務
鶴学園特待生	授業料全額免除 施設設備資金	無
(財)鶴獎学会	(年額) 54,000円	無
広島工業大学同窓会	(年額) 36,000円	無
日本育英会	一般 (月額) 27,000円	有
	特 別 自宅(月額)29,000円 自宅外(月額)39,000円	
その他、地方公共団体・民間育英団体の奨学制度がある。		

〔卒業後の取得資格〕

- 教員免許
卒業生は、在学中に教職課程を修得することにより、高等学校教諭2級普通免許状(工業)の交付を受けることができる。
- 電気事業主任技術者
電気工学科・電子工学科の卒業生は、在学中に指定された授業科目を修得し、卒業後所定の実務経験を経ると、電気事業主任技術者免許状が取得できる。
- 電気工事士
電気工学科・電子工学科の卒業生は、在学中に指定された授業科目を修得することにより、電気工事士試験のうち学科試験が免除される。
- 測量士補・測量士
土木工学科の卒業生は、卒業と同時に測量士補の無試験登録、卒業後1年の測量実務を経ると、測量士の無試験登録ができる。
- 建築士
建築学科の卒業生は、卒業と同時に二級建築士試験を、また卒業後2年以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。
土木工学科の卒業生は、卒業後1年以上建築に関する実務に従事すると二級建築士試験を、また卒業後2年以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。
- その他
卒業生は、上記以外の国家資格試験において、受験資格が与えられるもの、あるいは、試験科目の一部が免除されるものがある。

〔お問い合わせ先〕

〒731-51 広島県佐伯郡五日市町三宅725 TEL (0829)21-3121代

広島工業大学 入試係 (入試要項 ￥共640円切手)

諸 報

叙 勲

○ 広島工業大学

歎三等旭日中綬章 島津 起 教授

慶弔

○ 広島工業大学

おくやみ

○ 学園評議員（大学名誉教授）畠山兼人様が昭和59年6月11日逝去されました。（享年77歳）

慎んでご冥福をお祈りいたします。

学園だより

広島工大同窓生の皆さん、お元気でそれぞれの職場でご活躍のことと存じます。

鮮やかな緑に包まれたキャンパスには、今年も1千余名の新入学生を迎える、青春の香りが爽やかに胸もとを流れ、白亜の校舎もひとときわ映えて目に写り、なかでも昨年来新築した経営工学科棟・学生会館は格別に輝いて見えます。

さて、鶴学園は、昭和31年2月23日付で広島高等電波学校の設置認可を得、同年4月1日開校から数えて、昭和61年に創立30周年を迎えることになりました。ちなみに広島工大はその年に創立23周年ということになります。

ところで、30年といえば洋の東西を問わず一世代と呼び、英語ではゼネレーション（a generation）がそれで、大層記念すべき年にあたります。

また論語では「三十而立」（三十にして立つ）といい、人間は30歳になって独立した立場をもつと解釈しております。いわゆる壮年期であります。

つきましては、この30年の歴史と伝統をひとつ目の節として、神のおみちびきと、関係ご当局はじめ、世の多くの方々のご高配とご支援に深い感謝をささげ、さらに21世紀へ向けて私学試験の時代に対する覚悟を新たにする意味を含めて、昭和61年秋を目途に「記念式典」を催すことになっています。

これに並行して、記念事業の柱として、大学の知育・体育両面の施設の充実を図るために、工大のシンボル的意味合いを込めて高層建築の「電子工学科棟」を、また「鶴記念体育馆」も同時に新築する大きな企画があります。

この建築は、昭和60年、61年度の継続事業で進め、61年の秋までには竣工の予定です。

このほかの記念事業には、創立30周年史・30年のあゆみをアピールするビデオの編集・大学応援歌の制定・記念植樹等いろいろの計画がありますが、おむね大学関連の事業が主軸となって仕組まれ、大学伸びるべしという底流がうかがわれます。

事業完成の曉には、同窓会の皆さんにも是非ご来学願い、おたがいに喜びを分ち合いたいと念じております。

これら記念事業の円滑な進展と運営を図るために組織は、総長・学長・各局長・各校長等からなる総括機関と

しての「記念事業委員会」を母体に、事業ごとの「実行部会」7部門を設け、この6月で全委員約60名が委嘱されて、一斉に本格的スタートを切る段取りが整いました。

そういうことで、着々準備は進んでいますが、皆さんご承認のとおり学園を取りまく環境は、極めて厳しく、とくにわが国政府財政赤字の折柄、行革断行の方向が打ち出され、予算もマイナスシーリングの影響で私学への補助金は、昭和58年度以降大幅に削減されております。

大学としては対応策を考え、記念事業の施設関係支出に対する基金を昭和57年度から積立てていますけれども、事業の総支出（概算30余億円と見込まれる）については、目前というわけにもいかず、借入金も導入し、さらに寄付金にもおさがりしなければならない情況であります。実行部会のなかに「募金推進部会」を置いて本年秋から皆さん同窓会員・在学生父兄・教職員といった学内縁故者個人を主体に大学とご縁のある全国の企業筋にもお願いして建設寄付金を募ることになっています。

後日皆さんのお手元に「募金趣意書」をお届けして詳しい内容をご高覧いただくことにしております。なにかと出費の多いときに恐縮ですが、是非趣意にご賛同のうえご応募くださるよう切にお願いします。

なお、同窓会名簿にお名前だけで、ご住所未掲載の方が約700名おられますのでお心当たりの方がございましたら、募金事務局まで一報いただければ、まことに幸甚に存じます。

また募金推進部会の担当者が、皆さんお勤めの企業に寄付金のお願いに伺いました節は、よろしくお取りなしださるよう併せてお願ひいたします。

学園だよりのおわりの方は、こちらのお願いばかりになりましたけれども、母校発展のシンボル的建築物が皆さんとのあとに続く後輩の育成に役立ち、ひいては社会における工大卒業生のレゾンデュトルの高揚、かつ先後輩のきずなをより強固なものにする素因にもなろうかと存じ、あえて紙面を拝借しました。

終りに同窓会の皆さんがますますご交情を深められ、お体を大切に健闘のほど心からお祈りいたします。

皆さんご機嫌よろしく。

（創立30周年記念事業委員会事務局）



サークル紹介

	サークル名	学生代表	電話	サークル名	学生代表	電話
体育系	柔道	佐々木 喜代治	(0829) 31-0208	硬式庭球	丸川 洋二	(0829) 23-3496
	剣道	竹下 満士	(0829) 21-0279	軟式庭球	緒方 直樹	(0829) 21-1520
	弓道	岡本 韶	(0826) 4-1267	ボート	切田 敬治	(0829) 21-2709
	合気道	岡村 三男	(082) 272-5510	サッカー	竜田 裕之	(0829) 22-9186
	少林寺	合田 章治	(0829) 22-1204	バレー ポール	藤井 宏之	(0829) 23-2456
	空手	村山 昌彦	(0829) 21-0949	ラグビー	竹村 俊彦	(0829) 23-6685
	ボクシング	谷岡 照久	(0829) 22-9094	ユースホステル	紙元 秀典	(0827) 23-0065
	ヨット	森本 真史	(0829) 32-0096	山岳	中原伸吾	(0829) 23-2615
	スキーコ	谷口 光昭	可部町大林 3662	サイクリング	岸村 敏治	(0829) 21-0231
	自動車	川口 洋司	(0829) 23-4911	ワンドーフォーゲル	松若 光明	(0829) 21-0231
	重量挙	小松 裕伸	(0829) 23-4868	スケート	小川 昌良	(0829) 22-7109
	アーチェリー	横原 浩之	(082) 271-2261	バドミントン	末岡 義昭	(082) 289-6241
	水泳	村武 竜哉	(0829) 22-4723	正道術	岡崎 喜久雄	(0829) 23-5726
	陸上	鈴木 剛	(08267) 5-1373	エスキーテニス	的場 文明	(0823) 31-8796
	バスケット	松本 理	(08202) 2-3383	ゴルフ	飯山 一臣	(0823) 71-1572
文化系	硬式野球	加藤 秋一郎	(0829) 23-3400	射撃	池田 茂	(0829) 22-0740
	軟式野球	外村 真一	(0829) 22-0740	馬術	坂本 徹郎	(0829) 22-4969
	卓球	古田 祐士	(08267) 8-1259	ピラスキ	三谷 憲三	(082) 231-8734
	ハンドボール	規工川 秀信	五日市町坪井 330	モーターサイクル	上田 正吾	(082) 232-9687
	科学部	津島 共	(082) 229-2235	マンドリン部	田中 秀樹	(0829) 22-3905
	無線部	掛 正喜	(0829) 32-8253	軽音楽部	田中 俊宏	(082) 262-4865
	基礎理論工学研究部	山田 健二	(0829) 23-4868	囲碁将棋部	沖野 信幸	(082) 888-5032
	鉄道研究部	小畑 英治	(082) 277-8075	E S S	藤井 浩善	(0829) 21-2332
	書道部	川又 早人	(0829) 22-4969	茶道部	青江 宏明	(0829) 23-2615
	美術部	山本 正和	(0829) 32-2033	落語研究会	宮脇 拓司	(0829) 21-4202
系	写真部	末永 亨	(0829) 23-6298	吟道同好会	竹松 康樹	(0829) 23-6352
	映画研究会	佐々木 敏記	(082) 229-2094	生物研究会	中村 隆一	(082) 237-0191
	放送部	岩村 正信	(0821) 21-2332	赤十字奉仕団	伊藤 稔	(0829) 21-1993
	フォーク部	富松 正義	(08295) 4-2556	アイディア研究会	大磯 貢	(082) 271-7730
	ロッカ部	長江 裕之	(082) 292-4129	天文愛好会	関秀明	(0829) 22-1204
	グリークラブ	岡崎 和武	(0823) 71-6613	A I C(アニメ・イラスト・コミック)	天能 寛美	(082) 848-0314

体育会だより

第23回体育祭

体育会本部長 中岡 浩人

5月25日から4日間にわたって開催された体育祭。年々衰退してきていたこの行事も、今年は盛り上がり、多少問題は残しましたが無事終了することができました。

今年のテーマは、『闘魂』とし、今、最も学生に欠けていると思われるものを用いて学生の奮起を促しました。また、今までの競技に加え、卵投げ、敗者復活戦、大綱引き、工大女子学生対女子職員のソフトなど新企画を加え、まんねり化した体育祭を換えました。これらの事が、盛り上がりにつながったと思います。

結果報告

○総合優勝 土木工学科 2位経営工学科

3位建築学科B

○クラス別優勝 土木工学科3年 2位土木工学科4年
3位電気工学科1年

○テニス 1位建築A 2年 2位教員A 3位建築A 4年

○ソフト 1位土木4年 2位土木3年 3位電子4年

○バスケット 1位土木4年 2位電気1年

3位電気2年

○バレーボール 1位経営3年 2位教員 3位経営4年

○サッカー 1位建築B1年 2位土木3年

3位機械B2年

○クラス対抗リレー 1位土木1年 2位電気1年

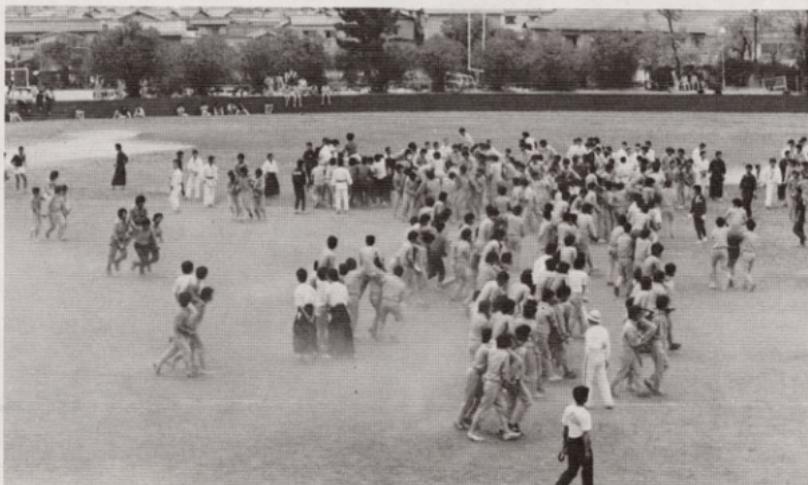
3位土木3年

○卵投げ 1位経営3年 2位建築B3年 3位経営3年

体育系サークルの危機

現在の体育系サークルは、クラブ31、同好会2、愛好会6、計39あります。しかし、過去3年間を見ると総部員数が200名前後で減少を示していました。この事態に対し、入学前の新入生を対照に調査を行いました。その内容は、1.スポーツ経験 2.加入希望クラブ 3.大学のクラブに対する印象 4.広工大のクラブの知名度調査 5.クラブに入らない理由というものでした。この結果77%ものクラブ経験者がいることが解りました。しかし、クラブ加入率は、20%しかなりません。この理由が、3番と5番に出ていました。それは、経済的負担と厳しさでした。厳しさは、分りますが、入学前にして55%もの新入生が経済的負担を感じている点には驚きました。そこで、各クラブの費用について調べました。結果はどのクラブにおいても、会費や参加費、登録費が、体育会からの予算の半分以上を占めてしまい、各個人から部費を徴収して体育用品を買っているという状況でした。また、1年間の個人負担額をみると、キー部の53万をトップにスケート部、サイクリング部が40万円、硬式庭球、剣道、山岳、ピラスキーの30万円代とかなりの額を負担しているサークルがあります。全体の個人負担平均も20万になります。

今、最も心配されることとは、金銭負担を理由とする加入拒否です。ただでさえ、お金に乏しい学生にこれだけの負担を掛けていることは、サークル縮少が分らなくありません。しかし、今年は28%加入とサークル拡大となりました。すると、当然会費などが増え、個人負担が増えることになります。また、戦績においても、全日本大会へ、アーチェリー部と剣道が出場しましたし、バドミントンや自動車も後期に出場します。このような状況ですので、体育系サークルに対し、同窓会からの援助金の強化を強く要望いたします。また、各クラブOBの方々におかれましても、各O会を通しての援助の方もお考え下さいますよう、お願いいたします。



文化局だより

今年も恒例の文化局主催の美術展、定期演奏会が以下の通り行われました。

芸術展は5月31日～6月5日まで美術部、書道部、写真部が県立美術館に於いて展示を行い、又、6月2日には日立ファミリーホールで映画研究部、放送部、そして今年から新たにA.I.C.(アニメ・イラスト・コミック)が加わり成功のうちに終了しました。

第19回定期演奏会(LIGHT MUSIC CONCERT)は6月20、21日の両日にわたって開催しました。例年は1日だけで全ての演奏(マンドリン・グリー・軽音楽・フォーク・ロック)が聞けましたが、今年は2日間にわけましたので各サークルの演奏を幅広く楽しめたこと思います。

これら2つの行事を行い工大生の文化を一般の人たち及び工大生にアピールしました。

今、我々文化局及び文化系サークルは秋の工大祭へ向けて夜遅くまで準備をしていますので近くに用事がございましたら、是非クラブハウスの方に遊びに来て下さい。サークル員一同楽しみに待っております。

同窓会本部だより

支部結成奨励、支部活性化呼びかけ!!

岡山県、山口県支部結成の気運高まる

職場支部結成の動きのニュース届く

ここ数年、毎年の活動方針の一つとして、支部結成の奨励をすすめてきております。

同窓会本部として最も大きな仕事は会員名簿の充実と思われます。その会員の状況をつかむためにも、地区、地域、県、職場グループでの連絡網が大切となります。

本部としては、少しでも多くの支部が結成され、同窓生の縦と横のつながりができ、その絆が広がってゆき、各地から支部結成のニュースが聞かれますよう願っております。

何らかの形で同窓生の集いを持たれたり、そのような集いを持つとうという気運が生じた時には、至急同窓会本部までご連絡下さい。

手続きのようなどを説明させていただきます。

《支部結成のために必要とされる手続き》

- 1) 支部結成発起人(卒業年度、学科、氏名)
- 2) 支部内同窓生氏名(同上)
- 3) 支部則原案(支部則見本を地区、県、職場支部ごと、別々に作成していますので、参考にして下さい。)
- 4) 支部本部となる連絡場所……連絡先、住所、電話番号
記入

5) 正式に支部として承認されましたら支部則にともづき支部長、副支部長、会計その他の役員名を本部まで届けます。

支部結成のための連絡場所

〒731-51 広島県佐伯郡五日市町三宅725

広島工業大学同窓会本部事務室

TEL (0829) -21-3121

・県出身者の在学生を励ます会開催される

昨年に続き2度目の企画として長崎県出身の現役の学生との親睦をはかりうる先輩が後輩たち現役を招待して、夏休みの昭和59年8月の中旬頃、長崎市内で開催するため、準備中では是非とも多くの現役の学生に出席してもらいたい後輩を励ましてやりたいとの先輩の心あたたまる思いやりです。

・現在までの支部結成状況

○地区支部……3 ○県支部……4 ○職場支部12、詳細については、会誌18号(S59.3.20発刊)9920~22の支部結成状況のようすの項参照してください。

以上

同窓会奨学金資金募集

1. 金額：1口 1,000円

2. 送付方法：郵便振替口座番号 広島5956 書留その他

3. 送付先：〒731-51 広島県佐伯郡五日市町三宅
広島工業大学同窓会奨学資金係

同窓会奨学金の寄附のお礼

現在の同窓会の活動を今後同じように続けていくならば財政的に苦しくなることが、今度の総会で会長から述べられました。そうした折に、同窓会奨学金の充実、発展のために、会員の皆様からの寄付を賜わり、役員一同の大きな希望となっております。心から御協力に感謝いたしますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

同窓会々員名簿について

同窓会々員名簿(昭和59年3月発行)のご利用の方は、ハガキに下記の必要事項をご記入の上、同窓会事務室にお申し込み下さい。

送料は同窓会で負担致します。

金額 1冊 1,500円

記

・送付先住所	・氏名
・卒業年度	・卒業学科

